

あまが咲

2016
11月
No.30



兵庫県立尼崎総合医療センター

だより

【部門紹介】

経営企画部

「医療提供の基盤となる
“健全経営”に取り組みます。」



【診療科紹介】小児循環器内科／乳腺外科

- クリニクラウンが、小児病棟にやってきた！
- トライやる・ウィーク 生徒さんの職場体験 in 尼崎総合医療センター
- スタッフのつぶやき ● ぶらり〜っと病院探訪



医療提供の 基盤となる「健全経営」 に取り組みます。

私たち経営企画部は、新病院開設に伴い新たに設置された部門です。

地域の皆様に高度で良質な医療を安定して提供し続けていくためには、病院の健全経営は欠かすことができません。当部では、様々なデータ分析や経営計画の立案などを通して、健全経営に貢献できるよう一丸となって取り組んでいきます。

経営企画部
(経営企画課・
医事課・経理課・
医療情報課)
経営企画部長

川井 龍也



●取り組み・抱負

経営企画部には、経営企画課、医事課、経理課、医療情報課の4つの課があります。

経営企画課は、経営データの分析や経営計画の立案などを行い、健全経営のための中心的役割を担っています。さらに、現在進めている第2期工事(立体駐車場、保育所等)の進捗管理も行っています。

医事課は、患者さんの受付や会計を担当している部署で、皆様に気持ちよく受診いただけるように心がけています。また、診療報酬請求事務、患者数に関するデータ整理なども行っています。

経理課は、予算・決算の作成、コスト管理、医療機器や診療材料の物品調達などを担っています。また同課の中央監視室では、病院建物や設備の点検・修繕などに取り組んでいます。

医療情報課は、電子カルテなどの医療情報システム全般の管理・運用を行っています。

●地域へのメッセージ

経営企画部では、現在、病院の北側に立体駐車場(約300台)の新設工事を進めています。来春この駐車場が完成すると、ご不便をおかけしている駐車場入庫の待ち時間が大幅に短縮されますので、今しばらくのご辛抱をお願いします。



小児循環器 内科

胎児から成人まで 一貫した成育医療の提供

小児循環器内科は、先天性心疾患を中心に、心筋疾患、不整脈、川崎病後冠動脈障害など小児心疾患の治療・管理を行っています。特に、重篤な先天性心疾患においては、胎児診断を行い、心臓血管外科と連携して高度な内科的・外科的治療を行っています。また、小児期には、有意義な学校生活が送れるよう管理指導を行い、成人期以降は、各疾患特有の諸問題に対し院内の各専門科と連携しながら、一貫した成育医療を提供しています。

1. 経験豊富な

心臓カテーテル検査・治療実績

当科は、旧尼崎病院から一万件を越える実績があり、年間50件以上のカテーテル治療を行っています。さらに、経皮的心房中隔欠損閉鎖術、経皮的動脈管閉鎖術認定施設であり、最先端の医療を提供しています。

2. 胎児診療と

成人先天性心疾患診療

当科は、胎児エコー外来と成人先天性心疾患外来を設け、先天性心疾患の早期診断、キャリアーオーバー症例の管理治療を行う体制を整えています。

対象とする症状または疾患

1. 胎児期の心奇形、不整脈、心筋疾患
2. 左心低形成症候群、完全大血管転位、大動脈離断など新生児危急疾患を含む先天性心疾患すべて
3. 小児期発症の心筋炎・心筋症(補助循環を含む急性期管理や両心室ペーシング可能)
4. カテーテル的閉鎖術が適応の心房中隔欠損と動脈管開存(ご高齢でも可)。
5. WPW症候群など小児期発症の不整脈(アブレーション、ICD埋込み術可能)
6. 冠動脈障害を残した川崎病
7. 妊娠出産管理を要する先天性心疾患



乳腺外科

チーム医療で、女性の心と体に やさしい乳腺診療を目指します！

乳腺外科科長

諏訪 裕文

京都大学医学博士
京都大学臨床教授

日本乳癌学会乳腺専門医・指導医
日本外科学会専門医・指導医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医
日本がん治療認定医機構認定医





左から：鶏内医師、豊田医師、坂崎医師、稲熊医師、石原医師



小児循環器内科科長

坂崎 尚徳

日本小児科学会専門医
日本小児循環器学会専門医
日本小児循環器学会評議員
大阪市立大学医学博士

今年度から女性医師が3人に増え、患者さんにとって一層受診しやすくなりました。医師、看護師、薬剤師をはじめ、すべての職種が一体となって、女性の心と体にやさしい診療、ケアを提供するよう心がけています。



左から：太治医師、清水医師、諏訪医師、石田医師

診断と治療

乳がんの発症は増えていますが、治療も急速に進歩しています。

- 手術は、乳がんを治すだけでなく美しい乳房を残すことにこだわり、乳房温存手術を基本とします。
- 乳房全摘が必要な場合、ご希望があれば形成外科と連携して乳房再建手術を行います。
- 高精度の組織検査(マンモトーム生検)や画像検査(PET検査)、薬物療法、放射線療法など最高水準の診療を各部門と連携して行います。
- 乳がんの転移や再発に対しては、生存期間の延長とQOLの向上を目標に診療します。
- 乳がん手術件数は年間約180件に増加し、手術後のリハビリテーションやリンパ浮腫予防などのケアにも力を入れています。

今後も、乳がん患者さんをチーム全体で支えていきたいと思っています。



クリニックラウンが、 小児病棟にやってきた！

久しぶりの秋晴れとなった9月23日、尼崎総合医療センター小児病棟にクリニックラウンのトンちゃん、ポリタンが訪問してくださいました。

トンちゃん、ポリタンの登場で、一気にその場が明るくなり、驚きや戸惑いの表情を見せていた子どもたちもいつの間にか笑顔に。優しくあたたかい空気が流れ、ご家族はもちろん、通りがかりの職員までもが自然と笑顔になりました。トンちゃんやポリタンとのかかわりを通じて、子どもたちの持っている力があふれだし、子どもたちの笑顔がみんなを笑顔にしてくれ、魔法にかかったような素敵なひとときを過ごす事ができました。こういう癒しの時間がもっと増えればいいな、と思います。

今年度はあと2回来院していただきます。次回は12月19日の予定、とても楽しみです(^^)／



クルクル～



ポリタン トンちゃん

トライやる・ウィーク

生徒さんの職場体験
in 尼崎総合医療センター



患者さんからいただく貴重な体験

9月12～16日の5日間トライやる・ウィークがあり、尼崎市立立花中学校より3名の生徒さんが参加しました。トライやる・ウィークは、職場体験を通して、対人関係の大切さや社会生活上のルールや基本的なモラルを学び、自分の適性を知ること、将来の進路を考える機会になることを目的に行われています。

期間中は、看護部、検査部、放射線部、栄養管理部、リハビリ部門での体験をしました。リハビリ部門では、松葉杖や車いすの利用体験が、「町で困っている人が居たら助けてあげたい」という患者さんの立場になって考える感性を育てる機会となったようです。

今回の体験を通して、患者さんから励ましの言葉や声を掛けてもらったことで、「患者さんからパワーを頂くことができ、自分も患者さんに元気を与えられる看護師さんになりたいです」と目標を持つことができた生徒さんもありました。



スタッフの
つぶやき「尼崎総合医療センターに入院して
良かった!」と思っていただくために…

多くの方が適切な病棟に入院できるように 入院調整担当 看護師長 河原 長子

病院には、入院調整(ベッドコントロール)という部署があります。入院調整の役割は、入院が必要な患者さんが適切な病棟に入院できるよう各診療科医師、各病棟看護師長と連携を取ながら入院ベッドの決定を行っています。また、緊急入院された患者さんの一般病棟への転出の調整も行っています。しかし、各病棟がいっぱいで、該当病棟に入院できない場合もあります…でもご安心下さい。該当科以外の病棟でも同じケアが、またどの病棟に入院されても「ワン・モアの看護」が受けられるよう、看護部全体で取り組んでいます。更に、入院後も病棟を代わって頂くこともよくあります。より多くの入院患者さんを受け入れるために、ベッドを確保するためなどご理解ください。今後も「尼崎総合医療センターに入院して良かった」と思われるようなベッドコントロール心がけて行きます。

ぶらり〜と 病院探訪



兵庫県立大学地域ケア開発研究所

「周産期ケア研究センター」

今回は、3階の総合周産期母子医療センターに入って左の奥にある兵庫県立大学地域ケア開発研究所「周産期ケア研究センター」に訪れてみました。

どんな施設? 安全・安心な妊娠・出産・育児が行えるように、臨床の場と研究・教育機関が連携し、新たなモデルの構築・情報発信を行っています。兵庫県立大学と兵庫県立尼崎総合医療センターの連携のもと設置され、活動されています。

話題の「るんるんルーム」を覗いてみました!

参加対象者は、乳幼児とその保護者、妊婦さんとそのパートナーで、**毎週水曜日10時~15時**に行っておられるようですが、参加者数は、毎回20名以上で、多い時には40名ほどの参加があるそうです。育児講座では、「ベビービクス」・「離乳食のお話」・「子どもの急変時の対応」などを行っておられます。お母さんの些細な気がかりに、看護師が専門的立場で相談に応じており、身長、体重の測定を行い、子どもの成長発達を感じてもらいながら、栄養相談を受けることもでき、自宅でできることをわかりやすくお話ししていただけます。妊婦さんや子育て中のママと楽しく交流できる場にもなっているようです。働くスタッフさん達は、「子育て中のママさん達と関わる中で、子育ての大切さを改めて感じ、その大切な時間をともに過ごせることに、喜びを感じている」と話されていました。これから、ますます活躍が求められる場所だと感じました。

今、話題の
「るんるんルーム」
を訪れました!専門的な
相談の場でもあり、
妊婦さんと子育て
ママさんたちの
交流の場

後列:左)菅野峰子 右)上村典子
前列:左)岩國亜紀子 右)槻木直子

▶「るんるんルーム」お問い合わせは TEL:06-6401-7078(直通) メールアドレス:perinatal.care.center@gmail.com まで

編集後記

NHK大河ドラマ「真田丸」を毎週楽しく観ています。物語は主人公真田信繁が大阪城に入城し、いよいよクライマックスに突入です。クライマックスといえば、当院においても医療サービスの質を評価する「病院機能評価」の審査が間もなくあります。昨年度から各職種横断で取り組んできた改善活動が評価される場ですので、いい結果となるようがんばります。では、おのおの、拔かりなく。

(S.M.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <http://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索